

- 1 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 2 聖徳太子が中心となって栄えた、最初の本格的な仏教文化を何という？
- 3 聖徳太子が制定した憲法において、仏教の尊重とともに取り入れられた教えを何という？
- 4 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
- 5 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 6 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？
- 7 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？
- 8 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？
- 9 聖徳太子や蘇我氏が中心となって栄えた、日本で最初の本格的な仏教に基づく文化を何という？
- 10 672年に天智天皇の死後、後継をめぐる起きた内乱を何という？
- 11 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？
- 12 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 13 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 14 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 15 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？
- 16 飛鳥時代、仏教の採用をめぐる蘇我氏と激しく対立した有力豪族を何という？
- 17 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 18 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？
- 19 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？
- 20 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？
- 21 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？
- 22 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
- 23 645年、天皇中心の国づくりをめざして改革を始めた2人の組み合わせは？
- 24 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る 答え	言えた
1	大海人皇子 は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。	大海人皇子	☐
2	飛鳥文化 は、法隆寺などの寺院建築や、釈迦三尊像のような仏像に見られる彫刻に特徴があります。	飛鳥文化	☐
3	儒教 は、孔子を祖とする中国の思想で、礼儀や孝行、そして君臣関係といった秩序を何よりも重んじます。	儒教	☐
4	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を 律令制度 といいます。	律令制度	☐
5	律令制度 とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。	律令制度	☐
6	604年に聖徳太子によって制定された「 十七条の憲法 」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。	十七条の憲法	☐
7	663年、現在の韓国付近にある白村江（はくすきのえ）という場所で、日本軍は唐と新羅の連合軍と激突しました。	白村江の戦い	☐
8	天智天皇が作成させた 戸籍 （庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。	戸籍	☐
9	仏教文化は、聖徳太子や蘇我氏ら有力豪族によって深く信仰され、寺院の建立が活発になりました。	飛鳥文化	☐
10	672年に勃発したこの内乱は「 壬申の乱 」と呼ばれます。	壬申の乱	☐
11	天智天皇 は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。	天智天皇	☐
12	「 飛鳥文化 」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。	飛鳥文化	☐
13	渡来人 は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。	渡来人	☐
14	607年に小野妹子らが派遣されました。	遣隋使	☐
15	中央集権国家 とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。	中央集権国家	☐
16	物部氏 は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が推し進める仏教の導入に強く反対しました。	物部氏	☐
17	聖徳太子 は、推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を敬う思想を広めました。	聖徳太子	☐
18	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「 防人 」を配置して警備を強化しました。	防人	☐
19	670年（庚午の年）に作成された「 庚午年籍 」は、日本で初めて全国規模で作成された戸籍です。	庚午年籍	☐
20	小野妹子 は、聖徳太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。	小野妹子	☐
21	603年に制定された 冠位十二階 は、役人に大徳から小智まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。	冠位十二階	☐
22	604年に制定されました。	十七条の憲法	☐
23		中大兄皇子と中臣鎌足	☐
24	天武天皇 は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。	天武天皇	☐

言えなかった用語ノート